

令和 4 年度 第 5 学年 情報工学実験 II

明石高専学生食堂システム 要求定義書

チーム 9

作成者 E1832 藤村勇仁

共同作成者 E18
E18

作成日 2022 年 4 月 26 日 (火)

1 システム化の目的

現在の明石高専のシステムでは、食堂のメニューは HP から新着情報のページへ行き、そこから食堂のメニューの更新情報を探さなければ見ることができない。また、売り切れ情報は直接食堂へ行き券売機を見なければいけない。

そこで、スマートフォンのブラウザ上で A セット, B セット, 常設メニューとそれらの価格を表示し、学生が売り切れ情報を入力することで売り切れ情報を共有するソフトウェアを開発する。

2 システムの機能要件

- スマートフォンのブラウザ上で動作すること。
- 対象とする利用者は「ユーザ」と「管理者」とする。
ただし、「管理者」は利用者に含めなくてもよい。
- 対象とするメニューは明石高専学生食堂の A セット, B セット, 常設メニューとする。
- A セットと B セットは各日のメニューを表示できること。
- 各メニューの価格が表示されること。
- A セット, B セット, 常設メニューで売り切れたものがあればその情報を入力できること。
ここで、売り切れ情報を入力するのは「ユーザ」とする。
- 売り切れ情報を速やかに反映できること。
これはページの再読込による情報更新でも、プッシュ型の情報更新でもよい。
- Web サーバは Apache とする。
ただし、プッシュ型の情報更新をする場合, Apache を使わなくてもよい。
- サーバサイド技術は PHP, Python による CGI, Python+ フレームワーク Flask のいずれかとする。
- データベースは PostgreSQL とする。

3 データフローダイアグラム

図 1 にデータフローダイアグラムを示す。

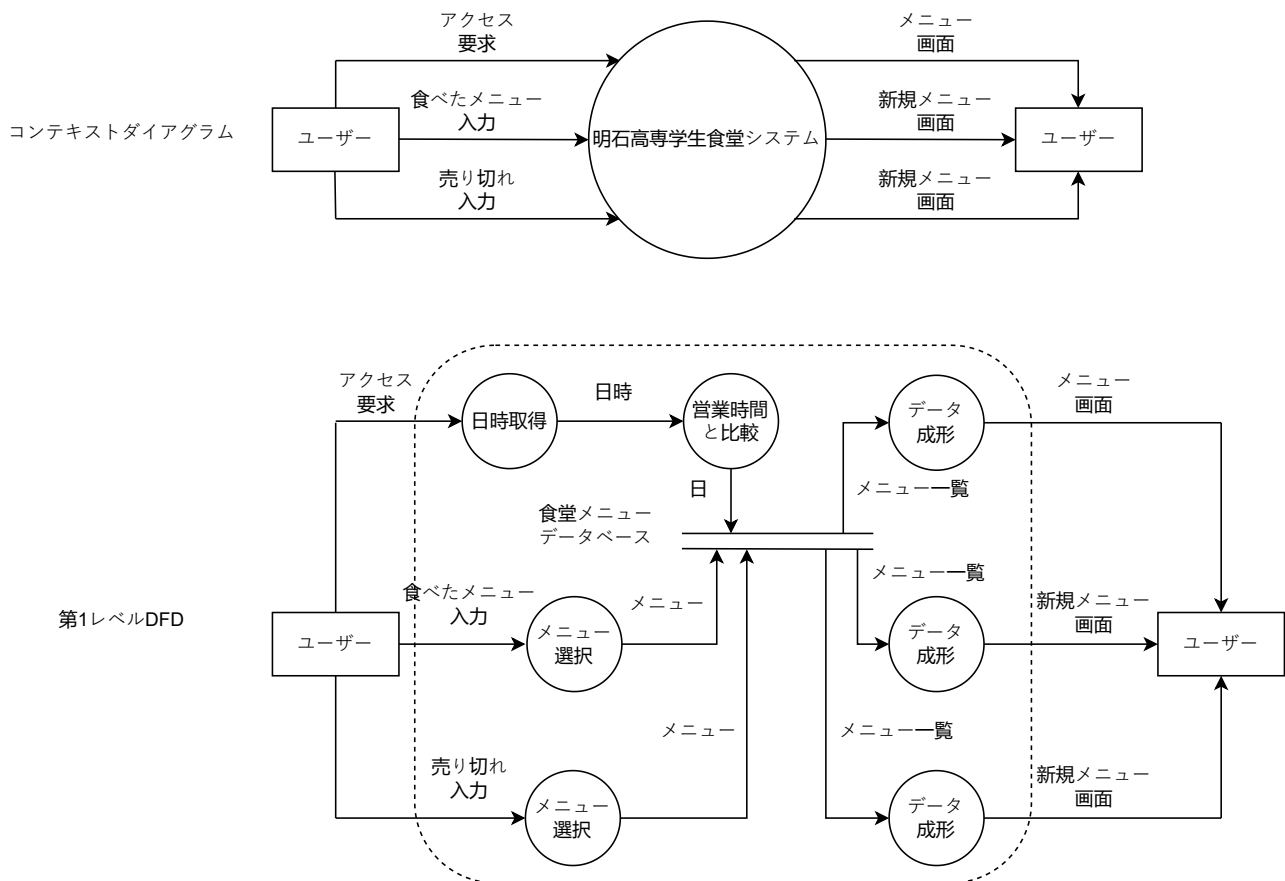


図1 データフローダイアグラム

4 データディクショナリ

5 開発スケジュール

開発スケジュールは以下のようにになっている。

- 要求分析と要求定義
→ 第2週～第4週
- 外部設計と内部設計
→ 第5週～第7週
- プログラミング
→ 第8週～第13週
- テストとドキュメント作成
→ 第14週

6 各段階におけるリーダー

各段階におけるリーダーは以下のようにになっている。

- 要求分析と要求定義
→ 首浦
- 外部設計と内部設計
→ 藤村
- プログラミング
→ 土井
- テストとドキュメント作成
→ 首浦